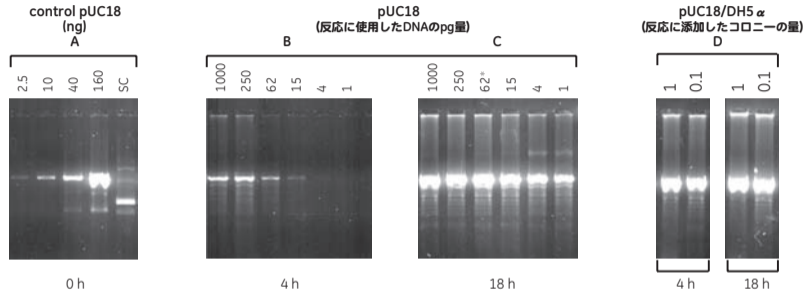


TempliPhi 100 / 500 による反応の増幅カイネティクス



(A ~ C) 異なる量の pUC18 DNA を出発材料として、0 時間、4 時間、および 18 時間のインキュベーションを行った結果増幅産物を *Eco* R I によって消化した後、1 μ l を分取してアガロースゲルで電気泳動しました。

SC = Super coiled, uncut pUC18 * = 3.2 μ g の増幅産物

(D) pUC18 プラスミドを含む *E. coli* DH5 α コロニーの量を変えて、それぞれについて 4 時間および 18 時間のインキュベーションを行った結果反応後 *Eco* R I で消化し 1 μ l を泳動しました。レーンの 1 と 0.1 はそれぞれシングルコロニーもしくはその 1/10 のコロニーを出発材料とした場合の増幅産物です (TempliPhi 100 / 500 を使用)。